

対象	プログラム名	参加者数	留学先	派遣期間	教育研究活動内容及び成果	評価方法	認定単位数
全学部	協定留学	31名	イギリス オーストラリア オランダ アメリカ カナダ フランス 韓国 台湾 シンガポール	1学期または1年間	協定留学では、語学力に応じて、MainstreamまたはPathwayどちらかのコースを選択することができる。Mainstreamでは現地の学生と同様に大学の正規授業を履修し、Pathwayでは留学前半に語学力やアカデミックスキルを伸ばすためのプログラムに参加し、後半で大学の正規授業を履修する。 留学前に①学業、②人との関わり、③国・地域・人の研究、④キャリア形成に向けた活動、⑤成長に向けた取り組みについて目標を設定し、留学中は毎月月末に目標達成に向けた取り組みや円滑に留学生活が送れているかどうか等の状況を「月例報告書」という形で報告する。留学終了後は総括シートを提出を義務付けることで、学生の内面の成果も把握する。	留学先大学での成績証明書原本及び授業の詳細が分かる資料(授業で使用した教科書やノート、シラバス等)を基に単位認定を行う。	1学期留学生：8~20単位 1年間留学生：6~40単位
全学部	外国語現地実習	77名	ドイツ フランス フィリピン アメリカ オーストラリア 韓国	3~4週間	夏季休暇および春季休暇を利用して海外の協定校で実施される語学力向上を目的とする語学の集中授業である。武蔵大学で履修登録を行い、プログラム修了後、所定の提出物の審査をもって武蔵大学の単位として認定される。原則として参加に語学基準はなく、初級者から上級者まで参加できる。語学講座のプログラムに基づき、会話力、読解力、作文能力を着実に向上させる。また、現地での生活を通して、現地の文化慣習、現代事情や地誌についての理解を深める。	所定のガイダンス・オリエンテーションに出席、各プログラムを修了し、実習校から発行される修了証およびアンケート/レポート等を提出した学生は、審査のうえで単位認定される。	2単位
人文学部グローバル・スタディーズコース(GSC)	GSC 海外集中英語研修	21名	アメリカ カナダ オーストラリア	4週間	人文学部グローバル・スタディーズコース(GSC)の学生を対象とした海外集中英語研修である。学生はアメリカ、カナダ、オーストラリアにある各協定校が提供するいずれかのプログラムを受講する。出発前のプレイズメントテストまたは提出した英語スコアを基にクラス編成され、学術英語に関する授業を履修する。具体的には、語彙力、学術的な内容の英文を読み解く力、講義を聞き取り重要事項をノートに書き留める力、ゼミにおいて議論をおこない意見発表をおこなう力、論理構成力や批判的思考力、学術的な内容の文章を書く力等、次年度以降専門科目を学修するために必要な英語力の向上を目指す。IELTSアカデミック・モジュールオーバーオール5.5以上の取得を目指し、すでに到達している者はそれ以上のスコア取得を目標とする。	本研修における成績は、留学先の機関から与えられる最終成績によって評価され、本学専攻基礎科目である「Language Workshop (GSC) 1」(1単位)、「Language Workshop (GSC) 2」(1単位)の単位認定対象となる。	2単位
社会学部グローバル・データサイエンスコース(GDS)	GDS 海外英語研修	10名	カナダ	6週間	社会学部グローバル・データサイエンスコース(GDS)の学生を対象とした海外英語研修である。海外で集中的に英語を学修することで英語の運用力を高め、IELTSアカデミック・モジュールオーバーオール5.5以上の取得を目指す。プレイズメントテストの結果に基づきレベル分けされたクラスにて、英語の4技能を総合的に学び、一部の授業では、IELTSに特化した内容を学修する。また、海外で日本とは異なる文化・慣習を体験することで、語学力向上だけでなく、国際的な視野を広げる。	本研修の単位認定にあたっては、修了証を提出の上、現地校から発行される成績書およびフィードバックを元に、本学教員が単位認定の審査を行う。また、本学科目の成績をつける際には、現地校の成績書およびフィードバックに加えて、IELTS公式テストのスコアも考慮する。本研修は本学選択外国語である「海外英語研修 A」(2単位)「海外英語研修 B」(2単位)「海外英語研修 C」(2単位)の単位認定対象となる。	6単位
全学部	海外フィールド実習	5名	アメリカ	3週間	GLAD(Glocal Leadership and Awareness Development) プロジェクトと呼ばれる本実習は、授業担当教員の指導の下、事前・事後学習とハワイでのフィールド実習を組み合わせた体験型プログラムである。実習ではボランティア活動、現地の学生との交流、リーダーシップワークショップ等を通じて地球市民としての意識とリーダーシップ、問題解決能力等を養う。	事前事後学習を含むプログラム活動への参加や、活動のレポート、実習後のプレゼンテーションによって評価される。	1単位